

◎特集2 安全・安心! 災害に負けないまちづくり

平成18年7月豪雨災害を受け、
岡谷市ではこれまで以上に災害対策の強化に取り組んでいます。
大雨が降った場合、速やかに情報を集め、
その災害情報を様々な手段によってみなさんに伝えられる体制を整備。
さらに、土砂災害の再発が懸念されている区域に
砂防えん堤を建設するなど、
安心して暮らせるまちづくりを進めています。

平成十八年七月豪雨災害から二年が経ち、
多くの砂防えん堤工事の完成や、荒れた山肌に、
子ども達も一緒になり植樹するなど、復旧復興
も目に見えて進んでおります。
私たちは、一瞬のうちに八名もの尊い命を失った、
七月十九日を決して忘れることなく、安全・安心
なまちづくりを一層推進いたします。
土石流の犠牲になられた方々のご冥福を心から
お祈り申し上げます。

岡谷市長 今井竜五



“もしも”に備えて…大雨に対する体制について

大雨が降った場合、以下の手順により避難情報が発令されます。
気象状況とともに、市からの災害情報にご注意ください。 問合せ●危機管理室(内線1591)

市と区が連携

大雨警報等の情報、今後予想される雨量の予測を行い、必要により、市内各区へ地域連絡員を派遣し、各区の情報収集を行い市と区の連携を図りながら大雨に対する体制をとります。

もしも大雨が降ったら?

大雨注意報等の防災気象情報を判断材料とし、岡谷市は「事前体制」等を取り、災害への警戒体制の強化を行います。災害危険箇所については、現地パトロールを行い、速やかに情報収集を行います。

避難情報を発令

状況により、避難準備情報・避難勧告・避難指示を発令します。

避難準備情報発令の基準

- 釜口水門雨量観測所の観測で、連続雨量80mmまたは時間雨量20mmの降雨が予想される時、もしくはあった時
- 上記の場合で、独自に設置した雨量計の情報や土砂災害危険箇所の状況等を把握し、地元区と協議をし、総合的に判断し、今後、危険が予測される時



新しく設置された雨量計

避難勧告等発令の基準

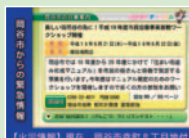
- 釜口水門雨量観測所の観測で、連続雨量90mmまたは時間雨量30mmの降雨が予想される時、もしくはあった時
- 長野県および長野地方気象台が岡谷市に「土砂災害警戒情報」を発表した時
- 上記の場合で、雨量計の情報や土砂災害危険箇所の状況等を把握する中で、地元区と協議をし、総合的に判断し、今後、危険が予測される時
- 土砂災害が発生した時

災害情報および避難情報発令の方法

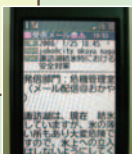
防災行政無線、防災ラジオ、防災メール、シルキーチャンネルにより、災害時などの緊急情報を迅速に市民のみなさんに提供します。



防災メール(携帯電話)



シルキーチャンネル



岡谷市が発令する避難関係情報

- 避難準備情報** 人的被害の発生する可能性が高い
- 避難勧告** 人的被害の発生する可能性が明らかに高い
- 避難指示** 人的被害の発生する危険性が非常に高い



小田井沢川



横河川左支川



治山事業
土石流の発生源となった崩落地に植物が生息できるよう斜面を安定させ、土砂の流出や崩壊の拡大を防ぐ事業を行っています。

平成18年7月豪雨災害関連の砂防えん堤が完成しました

小田井沢川、志平川をはじめ、平成18年7月豪雨災害で甚大な被害が生じた河川に砂防えん堤が完成しました。今後もえん堤など砂防施設の整備が進められます。 問合せ●豪雨災害復興対策室(内線1492)



待張川



中村沢川



的場川



志平川



ウノキ沢川



唐沢川



川沙門沢川



原沢川



本沢川



八重場沢川